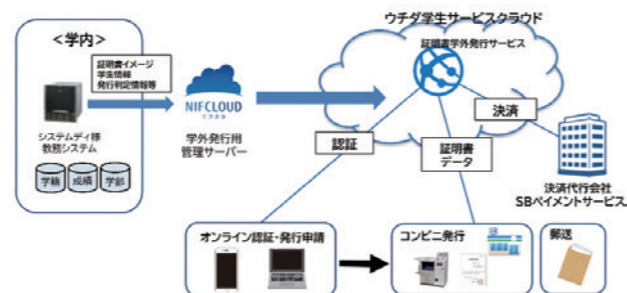


Web申請による学外証明書発行サービス開始について

東京医療保健大学は、第3期中期計画・目標の8(2)に基づき、DX(デジタル・トランスフォーメーション)による基盤強化により「学修者本位の多様な教育の提供」、「学びの質の向上」を図っています。特に、教育研究DX分野では、文部科学省の支援事業である令和2年度Plus-DX(デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン)、令和3年度産業DX(デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業)、令和5年度「大学・高専機能強化支援事業(デジタル・グリーン等の成長分野をけん引する高度専門人材の育成に向けて、意欲ある大学・高専が成長分野への学部転換等の改革を行う)」等に選定されるなど、健康・医療分野における本学のDX推進活動が、社会的重要性・将来性の点で高く評価されています。

今後、ますます教育研究DXを充実させるため、教育研究を支える業務運営全般のDX化(事務DX)も車の両輪として加速させる必要があります。また、DXによって生み出される教職員の人的経営資源を大学価値創出に積極的に活用することも大学競争力を高める上で不可欠です。こうした状況を踏まえて、ステークホルダーである在学生・卒業生の皆様の利便性向上と事務の効率化を目的とした「学外証明書発行サービス」を導入することといたしました。

学外証明書発行サービス概要



これまで各キャンパス事務部のカウンターで都度発行していた証明書発行を、利用者(在学生・卒業生)がWeb申請にてキャッシュレスで全国のコンビニエンスストアで発行できるサービスに移行します。365日24時間いつでも、どこでも証明書を取得できるようになりますので利用者の満足度向上に加え、事務職員(教務・経理部門)の作業工数を削減することにより、利用者サービス向上に努めてまいります。なお、本運用開始は2024年4月1日を予定しております。

在学生・卒業生がコンビニで証明書を発行する場合



※対象者 在学生・CampusPlanに登録のある卒業生

学外証明書発行サービス Web申請へのアクセス

<https://certificate.thcu.jp>



東京医療保健大学 公式TikTokアカウント開設のお知らせ

東京医療保健大学 公式TikTokアカウントを開設しました。在学生も企画・制作に関わり、受験に役立つ情報やTHCUの今を発信していきます。いいねやフォローお待ちしております！

【アカウント名】東京医療保健大学【公式】  
【アカウントID】thcu\_official



読者アンケート募集中!

本学学報「KOKORO」をご覧いただきありがとうございます。今後の紙面充実化を目指し、皆様からのご意見・ご感想を募集しております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



アンケート回答フォーム



01 【巻頭特集】卒業生が語る、これまでとこれから。  
夢のとびら

05 【巻頭特集】同窓会役員5人による座談会を開催！  
つながりをつくろう

07 About Myself

09 2024 WINTER/SPRING  
TOPICS & INFORMATION

11 THCU NOW!



Yui Tanaka



Natsuka Ejima



Yu Ichimura



Mizuki Masu



Shiori Toyama



Moe Watanabe



Nao Hashimoto

卒業生が語る、  
これまでとこれから。  
夢のとびら

# Students Message

新しい舞台へ羽ばたいていく4年生に、  
大学での印象的なエピソード、未来への希望、  
後輩へのアドバイスなどをお聞きました。  
みなさんが大切にしている思い出の品とともに、  
7人のメッセージをお届けします。

田中 優衣さん  
(東京医療保健大学 助産学専攻科 進学)

Faculty of Healthcare  
医療保健学部 看護学科



**Q1 将来の目標は？**  
女性やその家族に寄り添える助産師になることが目標です。出産が喜ばしいもの、悲しいものになっても、対象者それぞれが「良いお産だった」と思えるよう、心をしっかり支え、安全安楽に分娩に臨めるよう援助していきたいです。

**Q2 4年間で一番印象的だったことは？**  
機能看護学ゼミで、入退院支援における意思決定支援をテーマに実習したことです。患者様やご家族の意向を把握し、対象者にとっての最善の選択を考えながらサポートし、意向を実現していく意思決定支援について実習したことは、対象者のニーズや心に寄り添う看護を目指している私にとって、とても貴重な学びとなりました。



### 思い出の品

1年目の演習や実習から、ずっと使ってきた聴診器。初めて手にした時の看護師になるんだ！という想いや、緊張感がよみがえってきます。私の名前が入った相棒を、初心を忘れずに使い続けます。

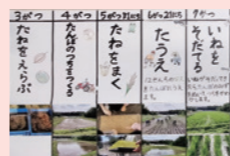
江島 夏佳さん  
(社会福祉法人若竹大寿会 内定)

Faculty of Healthcare  
医療保健学部 医療栄養学科



**Q1 4年間で一番印象的だったことは？**  
食育ゼミでの活動です。食育はこども園の子どもたちに米を題材に行いました。私たちゼミ生も田植えや稲刈りなど米の栽培に関わらせていただき、とても貴重な経験ができました。また、教育媒体を作成し実際に食育を行うことで、教えることの難しさ、楽しさを知ることができました。

**Q2 在学生へメッセージ**  
国家試験に合格するためには、普段の勉強が大切です。定期試験の勉強はその時だけのものではなく、その後の国家試験のためだと思いつつしっかりと知識を身につけて。今しかできない遊びやアルバイトを楽しみつつ、日頃の学びが合格につながると信じて頑張ってください！



### 思い出の品

食育ゼミで作った、米の成長がわかるカレンダー。こども園で食育の指導をする際に仲間と一緒に作った最初の教材です。田植えのシーンや季節の生き物など、絵も描くことで印象に残るよう工夫しました。

市村 悠さん  
(株式会社CAD SOLUTIONS 内定)

Faculty of Healthcare  
医療保健学部 医療情報学科



**Q1 THCUのよいところは？**  
情報だけではなく医療も学べることが魅力的でTHCUへの進学を決めました。私の就職内定先は現時点で医療とのつながりがあり強みありませんが、今後新しい視点から医療の発展に貢献していきたいと思っています。「医療」と「情報」どちらも学べる環境はお勧めです！

**Q2 4年間で成長したと感ずることは？**  
人前に立って発表することが増えました。もともと人前に立つと手が震え、頭の中が真っ白になっていましたが、Zoomでの授業で人の目を気にせず発表することがきっかけで慣れていき、今では発表する機会があれば我先にと手をあげるようになりました。苦手克服という点でも、挑戦して良かったです。



### 思い出の品

2年生の時にテーマパークで撮った記念ショット。ずっと一緒にいた仲間です。課題でわからないことがあれば、アドバイスをしながら高め合ってきました。これからも大切な相談相手です。



東が丘看護学部 看護学科  
Higashioka Faculty of Nursing  
看護学科  
益美月さん  
(独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 内定)



立川看護学部 看護学科  
Tachikawa Faculty of Nursing  
看護学科  
遠山 菜さん  
(地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター 内定)



千葉看護学部 看護学科  
Chiba Faculty of Nursing  
看護学科  
渡邊 萌絵さん  
(東京歯科大学 市川総合病院 内定)



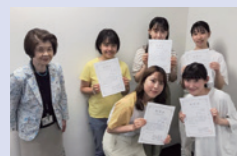
和歌山看護学部 看護学科  
Wakayama Faculty of Nursing  
看護学科  
橋本 直さん  
(日本赤十字社 和歌山医療センター 内定)

Q1 4年間で一番印象的だったことは？

2年生でスカラシップIIを、3年生・4年生でスカラシップIを獲得できたことです。私の大学生活は、経済的な理由から、アルバイトと学業を両立しながらスタートしました。スカラシップ制度があることを知り、目標にして努力しました。学費免除の恩恵を受けることで、学業に専念することができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

Q2 THCUの良いところは？

先生と生徒の距離がとても近いところです。THCUの先生方は生徒に対して、とても丁寧に、熱心に教えてくれます。そのため勉強面だけでなく、人間関係や進路の心配事など、何でも相談することができました。



思い出の品

学費が免除される、スカラシップを獲得した時の写真。勉強を頑張ってきたので、とてもうれしかったです。今後、いろんな壁があると思いますが、“努力は報われる”と励みにしたいですね。

Q1 4年間で成長したと感じることは？

自分の思いや考えを相手に伝える力です。学生生活では、患者さんやご家族、実習指導者の看護師さん、THCUの先生方、仲間など多くの方と関わる機会がありました。最初は緊張して意見をうまく伝えられない場面もありましたが、自分の思いを受け止めていただいたことで自信を持てるようになりました。

Q2 4年間で一番印象的だったことは？

4年次の在宅看護学実習です。いろいろな疾患を抱えながら在宅で生活している方々を訪問し、病院とは異なる医療環境や生活に直に接することができました。病院から地域への生活に向けた切れ目のない医療の提供を学び、知識や技術はもちろん、人との関わり方についても成長できたと感じています。



思い出の品

ゼミの仲間と卒業研究の発表後に撮った写真です。入学から2年間はコロナ禍で学校に行けず、3年生の時は実習の日々。4年生になってゼミが本格的に始まり、友だちと濃密な時間を過ごしました。

Q1 目標を達成するために頑張っていることは？

誠実さや思いやりを忘れずに過ごすことです。感謝の気持ちを忘れないことや嘘偽りのない姿を見せること、人との約束を守ることなど、人として大切なことを積み重ねて得られるものはお金では買えないかけがえのないものであると思うので日々頑張っています。

Q2 在学生へメッセージ

やる時は全力で取り組んで、終わった後はゆっくり休むなど、メリハリをつけることが大切だと4年間を経て実感しました。課題や実習が多く毎日大変だと思いますが、美味しいものを食べたり、好きなものを買ったりと楽しみながら頑張ってください。



思い出の品

保健師コースの友だちと持ち寄りで作ったお菓子箱です。みんなと定期的に行っていたのが国家試験の勉強会。自習スペースで机をつなげ、これを真ん中に置いて、私の推しはチョコでした。

Q1 将来の目標は？

緩和ケアや終末期ケアの強みを持った看護師になりたいと考えています。また、養護教諭一種の免許も取得するため、病院だけでなく学校教育の場でも活躍できる看護師資格を持った養護教諭になることも目標です。

Q2 4年間で一番印象的だったことは？

3年後期から4年前期まで行う領域実習で、特に慢性期看護学実習です。受け持たせていただいた患者さんには後遺症があり、言葉での意思疎通に苦戦。しかし、非言語的コミュニケーションを用いることで、次第に患者さんの伝えたいことをある程度理解できるようになりました。



思い出の品

4年間使い続けたパソコンとメモ帳です。授業はほぼオンラインで、このパソコンでレポートを書いたり、調べ物をしたり。メモ帳は実習に必須で、用語の説明や不明点を書き込んでいました。

# Roundtable Discussion by Alumni Association

同窓会役員5人による  
座談会を開催！

## つながりをつくろう

東京医療保健大学の同窓会役員5人が  
世田谷キャンパスに集まり、  
「同窓会の今後のあるべき姿」をテーマに  
座談会が行われました。  
同窓会が抱える今の課題とは？  
これから必要な取り組みとは？  
今と未来を見据えた意見やアイデアは、  
“ALL THCU”の強いつながりをつくる  
原点になりそうです。



医療保健学部  
医療栄養学科 2014年3月卒業  
会長  
**浅香 樹さん**  
(東京医療保健大学 事務職員)

医療保健学部  
看護学科 2014年3月卒業  
副会長  
**伊山 侑里さん**  
(えるさば訪問看護ステーション)

医療保健学部  
医療情報学科 2014年3月卒業  
理事  
**市川 典央さん**  
(株式会社ランドコンピュータ)

東が丘看護学部  
看護学科 2017年3月卒業  
監事  
**樋口 麻央さん**  
(昭和大学病院中央手術室看護師)

医療保健学部  
医療栄養学科 2013年3月卒業  
副会長  
**岡田 遼平さん**  
(トーン株式会社)

同窓会のあるべき姿に向け、  
更なる活動展開へ

### 大学創立からまもなく20周年。 卒業生は6,000人以上に。

**浅香** 同窓会は立ち上げから15年目になりました。大学は2025年に創立20周年を迎え、卒業生は約6,000人規模になってきましたが、OB・OGや同窓会役員としてどんなことを感じていますか？

**市川** 入学した時は創立5年目で、生まれたという感じだったので、そこから考えるとかなり時間が経って、卒業生の数を聞くと改めて驚きます。

**樋口** 学部が関東と関西にあって、様々な地域の特色も含めて学べるのは大きな魅力だと思います。入学生も全国から集まっているようで嬉しいですね。

**岡田** 卒業生が1人も出ていない時期に入学したので、今の卒業生の数には目を見張るものがあります。規模の拡大は素直に誇りを感じますね。

**伊山** 看護系学部が様々なキャンパスに置かれ、それぞれの学部で特色ある科目もある。同じ大学の同じ看護学部看護学科なのに、進路に複数の選択肢があるところまで成長して驚きですし、友人にTHCUの卒業生と言えるのも喜ばしいです。

**浅香** 自身が入学した時は2学部だったのに、2014年の3月に卒業して10年のうちに5学部に広がっていくスピード感は、学内にいながらも衝撃でした。医療機関にも卒業生が多く就職しているので、体調不良の時にお世話になるのが後輩だったら恥ずかしいなと思いました。

**市川** 逆に言えば、それは誇らしいですね。

**浅香** 様々なところでTHCUの卒業生が活躍しているんですね。自分もその一員というのが嬉しいですし、その中で同窓会の会長と名乗らせていただき、重責があるなと感じています。

### 大学や卒業生をつなげる、 ファーストステップとは？

**浅香** 私たちは役員体制として2期目。やるべきことは多々あると思いますが、皆さんがイメージしている夢や考えている目標をぜひ聞かせてください。

**市川** 医療情報学科の卒業生としては、在学時から医療情報学科の人たちはイベントへの参加率が低い印象があったので、同窓会活動への参加率にも影響があるのかと。参加したいと思わせる企画を練る必要がありま

すが、具体的に何をやればいいのか……。最初の一步として、同窓会発の情報発信をしてみてもどうでしょう。まず同窓会の存在を認知させ、広めていき、集まってもらえるようなステップで進めていくのがいいと思います。

**樋口** 私は東が丘看護学部出身で、今、臨床現場で働いていますが、ストレスでメンタルを崩す医療職が多いんです。大学で学んだメンタルヘルスは患者さんに対してで、働く側中心には学ばなかったの、同窓会が大学と連携して医療職向けのメンタルヘルス対策講座を企画してみてもどうでしょうか？ NPの方や専門看護師の方など、卒業生の繋がりを活かして様々な方が講座を受講出来たり、ディスカッションの機会を設けたりするなど、卒業しても相談や継続した学びの機会をつくれると良いのではないかと思います。

**市川** 看護職だけでなく、情報系のSE業界もメンタル不調者は多いので需要はあるでしょうね。

**岡田** 同窓会活動が卒業生や在學生に認識しづらいのが現状の課題とと思っているので、オンラインセミナーの開講、SNSやメルマガを使ったOB・OGの活躍紹介、大学で開催するイベント情報のリリースを大学と連携して

行うなど、まずは情報を広める仕組みづくりが必要かと。

**市川** セミナーを開催する場合はシフト勤務の方も受講できるように、一定期間オンデマンドで開講するなど、やり方の工夫がいりますね。

**岡田** オンデマンドの配信方法は、YouTubeチャンネルを活用しても良いかもしれません。時間のある時に、慣れた方法で見たいですね。

**伊山** 私は学生時代に進路について悩んでいた時、卒業生の体験談を聞いたことが参考になったんです。具体的に学生時代をどのように過ごし、進路を決定したプロセス、現在の仕事の様子など……。当時、本当に助かったので、ぜひ今の学生にも卒業生のネットワークを活かした話を記録に残せると良いですね。

**浅香** 大学の教育力を卒業生にも提供する機会を設けるのが、同窓会の役割なのではないかと感じています。情報発信については、プラットフォームとなるポータルサイトを大学と連携して作成・運営し、その存在を周知していくことがファーストステップとなるので、ぜひ取り組んでいきたいですね。

### スケールメリットを活かした、 多様な取り組みをイメージしながら。

**浅香** 同窓会や卒業生が単独で出来ることは限られているので、大学と連携を強化して、よりニーズの高い取り組みをしたいですね。

**市川** まずは種まきのフェーズでは？ 同窓会役員と関係する教職員の方々との顔合わせや、企画を練ることが最初かと。前に進むには、大学とWin-Winの関係になる必要があります。大学の教職員の主な役割は在學生を育てるところ。我々、卒業生はイメージではなく、教育を受けて社会で活躍している実体の成果なので、具体例として積極的に在學生と関わることで、学生のモチベーションを高められたらと思います。

**樋口** 研究者ではなく実務者の立場から、今、現場ではどのような教育が求められるのかを大学に伝えるのも卒業生の役割だと思います。自身の経験だと看護職といっても活躍の場や進路の選択肢は様々なので、転職関係などで卒業生同士はもちろん、在學生にも情報を提供したいです。

**岡田** 更にひとつ前の取り組みとして、同窓会活動の具体案を示す必要があるのではと思います。大学との連携に際して、役割分担

は明確にしておくべきかと。勤務先の業務を行いつつ、同窓会活動を進めるのは本当は大変ですけど、産みの苦しみが今が頑張り時かと考えています。

**伊山** 確かに同窓会単体で実行する際の現実論の線引きは必要だと思います。特にマンパワーに関しては厳しいところもあるので、最重要課題かと。大学に甘えるのではなく、相互協力することで解決できる道があるかもしれませんね。

### 大学とのつながりをつくり、 想いをカタチにしていこう。

**浅香** 同窓会の体制構築は先輩方も苦勞されていましたが、自分たちの代でカタチを示したいと思っています。校友会や後援会と同様に、定期的に大学と同窓会の意見交換の場は不可欠です。同窓会内での整理も重要ですけど、同時並行的に進めるスピード感が必要かと。理事長先生や学長先生と一緒に、THCUをどう盛り上げていこうか考える場を定例開催できるように動いていきたいです。これからはスケールメリットを活かしたALL THCUで、母校の更なる発展に貢献していきましょう。



どこにもいない、  
スペシアルな一人でありたい。

### ある1日のスケジュール

- 06:00 起床  
子どもたちの朝食準備に加え、掃除や洗濯もスタート。
- 08:30 授業の準備
- 09:00 授業「プライマリケア看護学特論II」  
事前学習をもとに、Zoomでディスカッション。
- 12:15 昼休憩  
子どもたちの昼食作り&後片付け。自分の食事までできる限りこの時間に。
- 13:00 授業「課題研究」  
ゼミのグループ生と担当教員が参加し、Zoomでディスカッション。
- 15:00 授業終了  
課題研究の論文を作成。
- 18:00 夕飯の支度
- 19:00 夕食
- 20:00 明日の準備
- 22:00 就寝

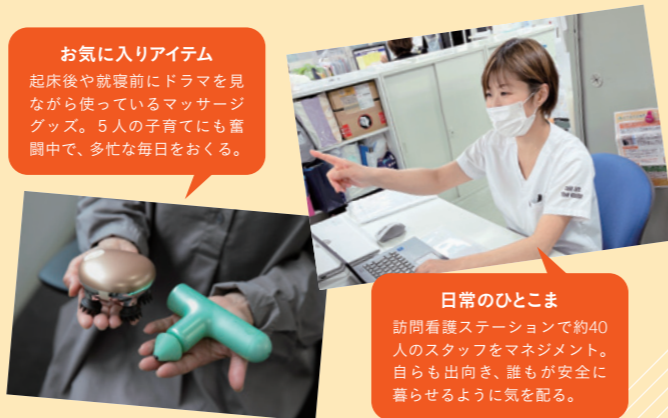
## 神野真紀さん

(医療保健学研究科 修士課程 プライマリケア看護学領域)

## 地域で暮らす人々のために。 発展性のある看護活動を目指す。

私の目標は、大学生の頃にオーストラリアで看護留学をして以来、上級実践看護師になることでした。ただ、仕事と家庭の両立が不可欠な中、仕事を休むという選択はできませんでした。そんな時に知ったのがTHCU五反田キャンパスの大学院。仕事を続けながら修士課程に進めますし、NP(診療看護師)と特定行為研修の勉強ができることとわかり、入学を決意したんです。授業はほとんどが土曜日でオンライン。平日は中野区の訪問看護ステーションで管理者として働いているので、プライマリケアNPになるための勉強は本当に実りが多いです。今までの訪問看護師とは違い、地域で暮らす人々のために何が出来るか、自ら生み出していかなければいけません。それは大変なことですが、やりがいとも思っています。

いま力を入れているのは修士論文の作成です。私は看護ケアや臨床推論のツールとしてポケットエコーを活用していきたいと思っています、それを論文のテーマにしています。先行研究を批評しながらまとめる、文献レビューは初めての経験。先生方に何度も相談しながら進めていますが、少しずつ形になっていくのはうれしいですね。これからも学習を重ね、看護師の未来を広げるような、発展性のある看護活動をしていければと思っています。



**お気に入りアイテム**  
起床後や就寝前にドラマを見ながら使っているマッサージグッズ。5人の子育てにも奮闘中で、多忙な毎日をおくる。

**日常のひとつ**  
訪問看護ステーションで約40人のスタッフをマネジメント。自らも出向き、誰もが安全に暮らせるように気を配る。



今回は、五反田キャンパス(看護学科)の  
**太田雄馬先生**が登場します



医学的な視点も養い、  
患者さんと向き合っていきたい。

### ある1日のスケジュール

- 06:00 起床
- 06:30 朝食  
免疫を維持できるように、ヨーグルトと長澤オリゴを必ず摂取。
- 07:10 通学
- 08:30 授業「治療のためのNP実践演習」  
基礎医学の知識や画像所見をもとに、解剖的に疾患を予測するチカラを養成。
- 12:40 ランチ
- 13:00 自習  
空きコマを利用して、友達とオスキーの練習。
- 15:00 授業「治療のためのNP実践演習」
- 17:10 授業終了  
集中できるように、帰りのカフェに立ち寄って勉強。
- 20:00 帰宅  
授業で学んだことを復習。時々、頭と指の運動を兼ね、ギターを弾いて気分転換。
- 24:00 就寝

## 高林論人さん

(看護学研究科 修士課程 高度実践看護コース)

## 周手術期の一連の看護に従事。 経験の幅広さを自身の強みに。

私は大学卒業後、小児科、救急センター、救急外来、手術室などを6年にわたって経験しました。周手術期の看護で、入院から手術中、手術後、退院まで、一連の看護や医療に触れてきたことは強みだと思っています。大学院を志望したのは、より医学的な視点を持って患者さんをマネジメントしたいと考えたから。NP(診療看護師)として活躍する身近な先輩の存在も大きかったですね。平日はもっぱら勉強の日々。講義は教員からの指導だけでなく、ディスカッションやグループワークも。頭を使いながら体も動かす、「治療のためのNP実践演習」は特に好きですね。ほかに力を注いでいるのが研究。学生時代に得意だった生理学を生かし、腎不全と便秘の関係性をテーマに、腸内細菌や細胞レベルまで落とし込んで実験を行っています。英語の論文を読む機会も増え、医学だけでなく英語も勉強中です。就活やその先も見据えて、TOEICにも挑戦しています。

今後の目標は、NPのニーズがある場所で働くこと。どんな部署でも、前職と同じようにフラットな人間関係を築きながら活動できるといいですね。今までの経験も存分に生かし、医学と看護学という両方の視点で患者さんにアプローチし、よりよい医療を提供したいです。



**お気に入りアイテム**  
NPとして活躍中の先輩や、前職の後輩たちからもらったペン。手にするたびに「頑張らなきゃ」という気持ちに。

**日常のひとつ**  
空きコマを使ってオスキーの練習。エコーを見ながら尺皮静脈に針を指し、PICCを挿入しているところをパチリ。



今回は、NPのロールモデルとして憧れる  
**関口奈津子先生**を紹介します

# TOPICS & INFORMATION

## 2023年4月～2024年3月 東京医療保健大学の学生イベントをご紹介します

2023年度は、新型コロナウイルス感染症による活動の制限が徐々に緩和され、各種イベントが再開されました。2024年も年間を通して様々なイベントを行いますので、気になるイベントにはぜひ参加し、充実したキャンパスライフを過ごしましょう！

入学式



スポーツ大会



新入生  
合同研修



夏の  
オープン  
キャンパス



女子  
バスケット  
ボール部  
インカレ

／今回は惜しくも  
準優勝！

ハロウィン  
イベント



クリスマス  
イベント



入学式  
新入生合同研修

4月  
April

スポーツ大会

6月  
June

夏のオープンキャンパス

8月  
August

ハロウィンイベント

10月  
October

女子バスケットボール部インカレ  
クリスマスイベント

12月  
December

看護師・助産師・保健師国家試験  
卒業イベント

2月  
February

5月  
May

就職活動支援

7月  
July

七夕イベント  
茶道体験会

9月  
September

オンライン海外研修

11月  
November

医愛祭

1月  
January

国家試験受験祈願

3月  
March

管理栄養士国家試験  
学位記授与式  
オーストラリア研修  
(2024年から現地研修が再開!)

就職活動  
支援



世田谷キャンパス  
新3年生対象!



茶道  
体験会

／2023年に初めて  
実施しました！



七夕  
イベント



医愛祭



国家試験  
受験祈願

管理栄養士合格祈願  
頑張り!受験生!!

卒業  
イベント

